

大中校区小中一貫教育たより②

前号で「大田原市の小中一貫教育」についてお伝えしましたので、今回は**市の方針等に沿って作成した「大田原中学校区(西原小・紫塚小・大田原中)小中一貫教育」の計画(グランドデザイン)や取組**についてお伝えいたします。

1 大田原中学校区小中一貫教育目標

「夢や希望に向かい たくましく生きる児童生徒の育成を図る」

2 小中一貫教育基本方針

本校区は、西原小学校・紫塚小学校・大田原中学校の2小1中からなり、小小・小中連携による児童生徒の活動の工夫や教職員交流による教育活動の推進及び研修の充実に努めています。今後も、小中一貫教育目標や目指す児童・生徒像を共有し、教職員の相互理解を深め、9年間の系統的な教育システムを構築していきます。

【目指す児童生徒像】

自ら進んで学ぶ子供
礼儀正しく思いやりのある子供
心身ともにたくましい子供

【目指す教師像】

夢や感動を子供に与えられる教師
子供の力を最大限に引き出す教師

3 小中一貫教育のねらい

本校区では、9年間の小中一貫教育を通して、小中の円滑な接続、教職員の意識改革、学校と地域との連携・協働などに取り組み、「確かな学力の育成」、「豊かな心と社会性の育成」、「健やかでたくましい心と体の育成」の実現をねらいとしています。

4 9年間を見通した系統的な教育活動の推進

9年間を3つの区分(3期制)に分け、それぞれの発達段階に応じた目標・指標を設定(※下の【あいさつ】の例を参照)し9年間を見通した系統的な教育活動を行っています。6月と7月に実施した小中合同のあいさつ運動(右の写真)も、目標・指標を意識した教育活動の一つです。



＜例＞礼儀正しく思いやりのある子供：【あいさつ】の目標・指標設定

区 分	目標・指標
後期(発展・充実期) 8・9年生	明るい学校・地域づくりを目指して場に応じたあいさつができる。
中期(活用・定着期) 5～7年生	明るい学校づくりを目指して自ら進んであいさつができる。
前期(基礎期) 1～4年生	明るく元気なあいさつができる。

5 本校区の小中一貫教育推進組織について

三校校長会をはじめ、教頭・地域連携部、事務部(チームでの共同実施)、教務部、学習指導部、児童・生徒指導部、健康安全指導部、特別支援部の部会があり、各校でそれぞれの部会に教職員が所属しています。合同会議の際には、部会ごとに三校職員が一堂に会し話し合いを行っています。

※詳細は、各校ホームページの小中一貫教育のコーナーに掲載してあるグランドデザインをご確認ください。